

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>料金が安くなることは歓迎です。しかし、利用率を上げるためには、使ってみたくなる魅力的なサービスが提供されることが先決ではないでしょうか。そのためには企業が自由な発想でサービスを提供できる仕組み・風土が不可欠です。iモードは民間の創意工夫が発揮された典型だと思います。役所はいらぬ規制をすべきではありません。</p> <p>また、今年度内には、携帯電話が光ファイバーと同じ程度のスピードで利用できるようになるそうです。私たちにとって通信手段の選択の幅が広がるわけです。私たちがいろいろな通信手段を自由に選択できることこそ大切です。</p> <p>NTTの組織問題については、現行の民営化を維持すべきです。新聞によれば、光ファイバー敷設会社を公社化する案も検討されているようですが、昔の電電公社時代に戻るようなことになってはいけません。郵政民営化もそうですが、先祖帰りになっては、将来、国民負担、利用者負担が増えると思います。民営化によって企業が競争にさらされて体質を強化することこそ重要で、これまでの競争政策の枠組みを変える必要はありません。</p>